

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2017年5月16日発行NO.582

子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう！

5月3日

施行七〇年を迎えた日本国憲法

安倍首相は憲法記念日の三日、改憲派の集會に寄せたメッセージで「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と述べ、「改憲案」を示しました。

戦争放棄を定めた9条に自衛隊の存在を明記した条文を第三項に追加することと、高等教育無償化を定めた条文を新設するとしています。

びっくりさせられたのが、国会で改憲の意図を聞いた。

行動する市民！ 憲法こわすな！
憲法記念日に 豊中で 大阪で

5月3日。豊中では恒例(14回目)となった平和パレード。市役所に集まり、豊中駅まで200名の列がパレードをおこないました。全教豊中もさまざまな市民団体・グループの方とともに参加しました。

午後は扇町公園で1万8000人が集まる集會が行われました。民進・共産・社民・自由の野党4党代表者がそろい、関西市民連合やママの会など「市民と野党の共同でアベ政治を終わらせよう」と訴えられました。

かかれた首相が「読売新聞を熟読して頂きたい」と答弁したことです。

国民に対する説明、国会での説明責任をあまりに軽く見すぎています。野党やマスコミから批判されていますが当然です。言うこととやっつけることが逆**高校無償化に反対した自民党！**

民主党政権がおこなった高校授業料の無償化を「バラマキ政策」だと批判した自民党は14年4月から廃止してしまいました。以降、ずっと自民党

は高等教育無償化には反対の立場です。

憲法を変えなくても教育費の無償化はできるのです。民主党政権で実証済みです。

それなのに、自民党は教育無償化のために憲法を変える？ と主張しています。

憲法の理念を活かして！

世界レベルでも教育にかけられる割合が低い日本。「教育」を使って、国民をだまして憲法を変えようとするあまりに姑息なやり方といわなければな



りません。

素晴らしい内容の書かれた日本の憲法です。それが実勢の国民のくらしや生活に活かされていなの問題です。

改憲を主張する安倍政権とそれを応援する維新の党ですが、この間の安倍政権の施策や大臣・閣僚の発言等を見ても、国民のくらしや生活のことを真剣に考えているとは思えません。

豊中生まれ 峠三吉
「ちちをかえせ」は
はをかえせ」

有名な「原爆詩集」を書いた峠三吉は、豊中生まれ。岡町図書館入口に彼の顕彰詩碑があります。今年2017年は彼の生誕100年です。



今年も スタート POWER UP 講座



実践に役立つ講座が今年も始まりました。第1回目となる4月29日は「低学年体育」

毎年好評の体育講座。安武先生に体育で大切にしたいことを学びました。

Q、体育では、背の順決め、おにごっこ・ドッジボールばかり？

A、苦手な子をじっくり観察し、「何を教えたいのか」はつきりさせて教科内容を問い直す。低学年は「基礎的運動感覚（姿勢やスピードをコントロールするなど）」が大切。

Q、マットでは「前転・後

転」だけ？

A、「動物歩き、ねこちゃん体操、側転（技が大きくて子どもが一気にマットが好きになります）」がおススメ。楽しく表現できる連続技を！

Q、鉄棒は、やっぱり「逆上がり」？

A、「逆上がりだけ」が鉄棒嫌いを作ります。まずは子どもが自由につくる「技集め」や、鉄棒下の技（ぶら下がり、こうもり）を思い切り楽しんで運動感覚を身につけたいですね。

Q、ボールは、やっぱり「ドッジボール」？

A、ドッジは基本ボールから逃げる運動なので、それだけではうまくなりません。的当て、シュートボールなど全員がボールに触れて、「投げたい」と思う教材がうまくします。

Q、プールのやっぱり「バタ足」から？

A、プールの苦手な子は「息ができない恐怖」が一番です。だから息を吸って「浮く」こと、息継ぎあり

のかんたん泳ぎ（ドル平など）が、みんなが泳げる近道です。

【参加者の感想より】

○子どもたちが楽しみながら学ぶ大切さを改めて感じました。やらせるのではなく、やりたいと感じながら子どもたちが活動できるようにしていきたいと思っています。

○早速、次回の体育の授業で活用してみたいと思いました。新任である私にもわかりやすく具体的な説明であったのでよかったです。

○自分の身体を支える、自由に動かせる基礎を作ること、改めてその大切さを再認識することができました。楽しさを味わわせてあげるいろいろな手段をこちらが学んで準備してあげなくては。今年一年の体育に向けてパワーをもらいました。

5月のパワーアップ講座

第2回 道徳	5月20日(土)9:30~12:00 講師:山口 隆さん (大阪教文センター) 『道徳教科化の問題点と課題』 <small>道徳が「教科」になり、何がかわるのでしょうか。そもそもなぜ「教科」に? 授業は? 評価は? その問題点と課題、これからの授業について学びます。</small>	場所:福祉会館
第3回 算数(高)	5月27日(土)9:30~12:00 講師:何森真人さん (岸和田市・小学校教諭 数教協) 『わかる算数たのしい授業part12』<高学年> <small>高学年にとって難しい単元の授業づくりを学びます。系統的な学習の進め方や教材・教具づくりなども広く学べる講座です。</small>	場所:中央公民館

「21世紀にふさわしい教育を」 「部落問題学習」を考えるQ&A

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会

Q 14
行政のすすめる「人権教育」はどこが問題ですか。

A 14
「基本的人権」を国民相互の心がけに矮小化しています。

政府の「人権教育」でいう「人権」は、公権力・社会的経済的権力（行政や企業など）と国民との間の問題（縦関係の問題）から目をそらし、国民相互の心がけ・モラルの問題（横関係の問題）に矮小化しています。

Q 14
行政のすすめる「人権教育」はどこが問題ですか。

A 14
「基本的人権」を国民相互の心がけに矮小化しています。

政府の「人権教育」でいう「人権」は、公権力・社会的経済的権力（行政や企業など）と国民との間の問題（縦関係の問題）から目をそらし、国民相互の心がけ・モラルの問題（横関係の問題）に矮小化しています。

専制支配に対して民衆が勝ち取ってきた「人権」が、21世紀の日本では、政府が国民を教育するキーワードになっていきます。格差が広がる競争社会の中で、自己責任、関心・意欲・態度を問う「人権教育」になっていきます。各教育委員会の「人権教育」では原発事故、ブラック企業、パワハラな

パワハラや長時間労働など教職員への人権侵害は常態です。教職員にするどい人権感覚を求め、子どもに数値目標で迫る「人権教育」は「人権」教育と言えるでしょうか。